○　内船歌舞伎の学園祭（輝城祭）での上演と 12 月の内船歌舞伎公演への中学生の出演

１　日時　○学園祭（輝城祭）での内船歌舞伎の上演　　平成 27 年９月 12 日（土）　13:40 分～
　　○内船歌舞伎公演への中学生の出演　　平成 27 年１２月６日（日）　12:30 分～

２　場所　○学園祭（輝城祭）での内船歌舞伎の上演　　南部中学校　体育館
　　○内船歌舞伎公演への中学生の出演　　南部町民文化ホール

３　概要

南部中学校で行われる学園祭（輝城祭）で１学年の生徒の演劇として，内船歌舞伎を内船歌舞伎保存会の方々の指導と協力のもと上演をした。また，12 月に内船歌舞伎保存会が主催する内船歌舞伎公演に中学生が出演した。12 月の公演に向けての練習の機会を多く設けることができないことが予想されたので，学園祭へ向けての練習において，９月の学園祭に出演する生徒を中心にしながら，12 月の講演会に出演する生徒にも演技指導をしていただいた。

４　実施内容

演目「吉例曽我対面」

○学園祭（輝城祭）　出演者　９名　打木１名　太鼓１名　黒子８名　背景画作成・大道具 17 名

○12 月公演　　出演者　９名　打木１名　太鼓１名　黒子５名

取組日程　　7 月 14 日　演劇メンバー　決定

7 月 23 日　役割分担決定

8 月 27 日～9 月 11 日（南部中学校において学園祭での上演に向けた練習）

平日の 2:30～3:30 学年の学園祭への取り組みの時間と，休日の割り当てられた時間，内船歌舞伎保存会の方々に毎回学校に演技指導に来ていただく。

文化会館で使う大道具，舞台装置が学校では使用できないため，背景画で舞台装置の代わりをすることにした。大道具，背景画担当の生徒が 5m×8m の背景画を作成した。

10 月 19 日，11 月 4 日，11 月 16 日，11 月 19 日放課後（12 月の公演に向けた練習）

学年優先の時間，他の活動がない時間を利用して内船歌舞伎の方々に学校へ来ていただいて演技指導を受ける。

５　成果と課題

地域の伝統文化である内船歌舞伎を南部中学校で行うことができた。演技指導や化粧，衣装など保存会の方々の協力で本格的に行うことができた。また，地域の方が学校に出入りする大きな機会となった。地域の伝統文化を学び，地域の人たちとの交流を深めるという意味において，大きな意味があった。また，今まで内船歌舞伎を見たことがないという人に対し，見てもらう機会になったので広く地域の伝統文化が町内に知れ渡るきっかけになった。

学校と保存会の方々の間での連絡調整が必要であった。学園祭の中で行うときに，化粧や着替えに時間がかかり，出演者が次のプログラムを見ることができなかった。中学生が学園祭で演じるのに適した演目が「吉例曽我対面」のみであることから，毎年行うわけにも行かない。学校において，保存会の方々と協力をして，内船歌舞伎の上演をすることができたことを今後どのように継続するかについては，検討する必要がある。